

学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

・ 定員充足の見込み

| 年 度 | 志願者 | 志願倍率 | 入学者 | 定員充足率 | 地域枠志願者 | 地域枠志願倍率 |
|--------|-----|------|-----|-------|--------|---------|
| 平成29年度 | 375 | 3.29 | 114 | 100 | 34 | 2.00 |
| 平成28年度 | 296 | 2.60 | 114 | 100 | 27 | 1.59 |
| 平成27年度 | 704 | 6.18 | 114 | 100 | 34 | 2.00 |
| 平成26年度 | 410 | 3.60 | 114 | 100 | 37 | 2.18 |
| 平成25年度 | 685 | 6.01 | 114 | 100 | 47 | 2.76 |

医学部医学科の過去5年間（平成25年度～平成29年度）の志願倍率は、それぞれ6.01倍、3.60倍、6.18倍、2.60倍、3.28倍となっており、平均志願倍率は4.34倍であり、各年度3倍近くの受験生を確保している。入学者は各年度とも入学定員どおり114人で、定員充足率も100%を保っており、定員充足に必要な学生数は確保できている。

また、地域枠志願学生についても、過去5年間（平成25年度～平成29年度）の志願者数は、それぞれ47人、37人、34人、27人、34人となっており、平均志願者数は35.8人で、地域特別枠、地域枠を合わせた地域枠学生募集人員の17人の約2.11倍となっており、こちらも定員充足に必要な学生数は確保できている。

なお、四国地区の環境や生活に関心を持ちつつ、地域に貢献し、国際性と研究能力を兼ね備えた医師を目指す者を積極的に受け入れる目的で、アドミッション・オフィス入試「四国定着研究医型」（大学入試センター試験を課す）（入学定員8人）を平成31年度から導入することとしている。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況（予定含む）

学生確保に向けた取組として、大学入試説明会に加えて、高校生に対して以下の広報活動を行い、受験生の確保に関する努力を行っている。

毎年8月上旬にオープンキャンパスを開催し、来学した高校生に対し大学での教育、研究、将来の進路について説明している。さらに、10月の大学祭開催時に高校生企画として、入試個別相談会を実施している。

また、医療に興味のある徳島県下の高校生を対象に、医療教育開発センタースキルラボでシミュレータを用いた医療体験実習（心音・呼吸音・採血・縫合・手洗い・救急救命）を毎年8月に行っている。医学科学生有志が指導補助となり、高校生との交流の機会ともなっている。

おって、高校側に対しても、「高校教員向け入試説明会」、「徳島県内高等学校進学担当課長と徳島大学の懇談会」、「徳島県高等学校教育研究会進学指導研究部会における意見交換会」を毎年開催し、高等学校教員に対しても、入試、教育内容と就職先について広報活動を行っている。